

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【公表番号】特表2003-514872(P2003-514872A)

【公表日】平成15年4月22日(2003.4.22)

【出願番号】特願2001-539483(P2001-539483)

【国際特許分類】

A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/29	(2006.01)
A 6 1 K	39/39	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	39/00	H
A 6 1 K	39/29	
A 6 1 K	39/39	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 K	37/02	

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月13日(2007.9.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 荷電有機キヤリアおよび荷電抗原を含む免疫原性複合体であって、有機キヤリアおよび抗原が静電的に会合し、この電荷抗原がC型肝炎ウイルス(HCV)のポリタンパク質もしくはそのフラグメントであるか、または上記ポリタンパク質もしくはそのフラグメントを含む融合タンパク質である免疫原性複合体。

【請求項2】 上記ポリタンパク質がHCVのコアタンパク質である、請求項1に記載の免疫原性性複合体。

【請求項3】 上記キヤリアが負に帯電してなる、請求項1に記載の免疫原性複合体。

【請求項4】 上記キヤリアがアジュバントである、請求項1に記載の免疫原性複合体。

【請求項5】 上記キヤリアが負電荷を帯びたアジュバントである、請求項4に記載の免疫原性複合体。

【請求項6】 負電荷を帯びた上記アジュバントが、天然に負電荷を帯びたアジュバントである、請求項5に記載の免疫原性複合体。

【請求項7】 負電荷を帯びたアジュバントが、負電荷の度合いを増加するように修飾されてなる、天然に負電荷を帯びたアジュバントである、請求項5に記載の免疫原性複合体。

【請求項8】 上記アジュバントがサボニンを含む、請求項4に記載の免疫原性複合体。

【請求項9】 上記アジュバントがサボニン複合体を含む、請求項4に記載の免疫原

性複合体。

【請求項 10】 上記サポニン複合体がISCOMATRIXTMである、請求項9に記載の免疫原性複合体。

【請求項 11】 上記アジュバントがリン脂質を含む、請求項4に記載の免疫原性複合体。

【請求項 12】 上記リン脂質がホスホグリセリドである、請求項11に記載の免疫原性複合体。

【請求項 13】 ホスホグリセリドがホスファチジル・イノシトール、ホスファチジル・グリセロール、ホスファチジン酸およびカルジオリピンからなる群から選択される、請求項12に記載の免疫原性複合体。

【請求項 14】 上記リン脂質が脂質Aである、請求項11に記載の免疫原性複合体。

【請求項 15】 上記脂質Aが、ジホスホリル脂質Aおよびモノホスホリル脂質Aからなる群から選択される、請求項14に記載の免疫原性複合体。

【請求項 16】 上記複合体が細胞傷害性のT-リンパ球反応を誘発する、請求項1に記載の免疫原性複合体。

【請求項 17】 荷電有機キヤリアおよび荷電抗原を含む免疫原性複合体を、活性成分として、医薬として許容される一種もしくは2種以上のキヤリアおよび／または希釈剤と共に含むワクチン組成物であって、キヤリアおよび抗原が静電的に会合してなり、かつ、この荷電抗原がC型肝炎ウイルス(HCV)のポリタンパク質もしくはそのフラグメントであるか、または上記ポリタンパク質もしくはそのフラグメントを含む融合タンパク質である、前記ワクチン組成物。

【請求項 18】 上記ポリタンパク質がHCVのコアタンパク質である、請求項17に記載のワクチン組成物。

【請求項 19】 上記キヤリアが負の電荷を帯びて成る、請求項17に記載のワクチン組成物。

【請求項 20】 上記キヤリアがアジュバントである、請求項17に記載のワクチン組成物。

【請求項 21】 上記キヤリアが負の電荷を帯びてなるアジュバントである、請求項20に記載のワクチン組成物。

【請求項 22】 負の電荷を帯びた上記アジュバントが天然に負の電荷を帯びたアジュバントである、請求項21に記載のワクチン組成物。

【請求項 23】 負の電荷を帯びた上記アジュバントが、負電荷の度合いを高めるように修飾されてなる、天然に負の電荷を帯びたアジュバントである、請求項21に記載のワクチン組成物。

【請求項 24】 上記アジュバントがサポニンを含む、請求項20に記載のワクチン組成物。

【請求項 25】 上記アジュバントがサポニン複合体である、請求項20に記載の免疫原性複合体。

【請求項 26】 上記サポニン複合体がISCOMATRIXTMである、請求項25に記載のワクチン組成物。

【請求項 27】 上記アジュバントがリン脂質を含む、請求項20に記載のワクチン組成物。

【請求項 28】 上記リン脂質がホスホグリセリドである、請求項27に記載のワクチン組成物。

【請求項 29】 ホスホグリセリドが、ホスファチジル・イノシトール、ホスファチジル・グリセロール、ホスファチジン酸およびカルジオリピンからなる群から選択される、請求項28に記載のワクチン組成物。

【請求項 30】 上記リン脂質が脂質Aである、請求項27に記載のワクチン組成物。

【請求項 3 1】 脂質Aがジホスホリル脂質Aおよびモノホスホリル脂質Aからなる群から選択される、請求項 3 0 に記載のワクチン組成物。

【請求項 3 2】 上記組成物が細胞傷害性のT-リンパ球反応を誘発する、請求項 1 7 に記載のワクチン組成物。

【請求項 3 3】 一種または2種以上の追加HCVタンパク質をさらに含む、請求項 1 7 に記載のワクチン組成物。

【請求項 3 4】 追加HCVタンパク質が、非構造タンパク質、E1外膜タンパク質、E2 外膜タンパク質、これらタンパク質の一つの免疫原性フラグメント、およびこれらのタンパク質およびフラグメントの組み合わせからなる群から選択される、請求項 3 3 に記載のワクチン組成物。

【請求項 3 5】 病状の徴候または悪化を抑制、停止、遅延または予防するために用いる医薬物質であって、上記医薬物質が請求項 1 に記載の免疫原性複合体を含む医薬物質。

【請求項 3 6】 病状の徴候または悪化を抑制、停止、遅延または予防するために用いる医薬物質であって、上記医薬物質が請求項 1 7 に記載のワクチン組成物を含む医薬物質。

【請求項 3 7】 上記病状がHCV感染の結果である、請求項 3 5 または 3 6 記載の医薬物質。